

同窓会名簿発刊によせて



校長 水野 遵 二

昭和49年3月、163名の第1回卒業生によって碧南工業高校同窓会が結成されて以来、29年の歳月が流れ、同窓生の数も7千百名を超える大きな組織に成長・発展しております。創立30周年を迎える今年、周年事業とタイアップして、10年振りに同窓会名簿の作成が企画され、このような立派な名簿ができましたことに、心からお祝い申し上げます。

1回生の年齢が47歳、企業では重要な立場であったり、自営を手掛け奮闘されておられる年頃であります。もう少し若い皆さんは各分野で貴重な技能師、技術師として活躍をされており、こうした方々が本同窓会の構成メンバーであります。それだけに転勤や結婚による住所の異動も多く、理事の皆様には住所の確認に大変苦心されたと伺っております。そうした困難を乗り越えられた関係者の皆様のご努力とそれにご協力いただいた会員の皆さんに衷心より御礼申し上げます。

皆さんは年齢の差こそありますが、校訓「人成って技育つ」の旗印の下で学んだ同志であります。まだ若い皆さんは本当の意味での同窓生の素晴らしさは実感できないかもしれません。しかし、40代を過ぎて、年齢的にも社会的にもある程度落ち着いてきた頃、じわじわとその良さがわかってくると思います。利害関係を超越して、職業分野にも関係なく、学生当時の呼び名で、遠慮なく語り合えるのも同窓生ならではのあります。歳をとればとるほど味が出て来るものであります。「君と共に一夜話す、10年の書を読むに勝る」は中国の思想家程明道の言葉です。心の友の有り難さを語っております。

卒業生の皆さんにあっては、今後卒業生名簿を通じて同窓生の存在を確認し合い、同窓会の会合を頻繁にもって、会員相互の絆「親睦を深め」を一層強めていって欲しいと思います。同窓会名簿の発刊を心からお喜びすると同時に、卒業生の皆様方のご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

(平成14年11月記)